



第36回 上士幌 ワンミーティング



■ 25機の熱気球たちが
かみしほろの大空へ

上士幌ウインターバルーンミーティング。今年で36年目を迎え、夏のフェスティバルと並んで歴史のある上士幌町の冬の風物詩として、毎年全国のバルーンリストたちや観客のみなさまに楽しまれている大会です。

今回は全国から21のチームが参加し、運営本部のオフィシャル気球と合わせて全25機の色とりどりの熱気球たちが舞い上がり、上士幌の空を彩りました。

1日目、2日目ともメイン会場である航空公園から熱気球が一斉に離陸。この瞬間を見ようと、朝早くからたくさんのお客様が駆けつけ、飛び立っていく熱気球に目を奪われている方や、一斉離陸を写真に収めようと、カメラのシャッターを切る姿がたくさん見られました。

1日目の競技フライトは、「ヘジテーション・ワルツ」と「フライイン」という競技が行われ、各チーム優勝を目指して日頃培った技術とチーム

熱気球競技の結果

▶ タスクNo.1 【ヘジテーション・ワルツ】

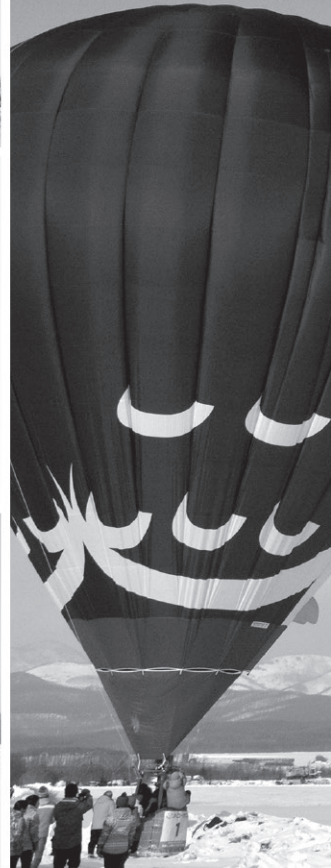
競技者は、決められた複数のターゲットの中から一つを選択。そこを目指して気球を飛ばし、マーカーを投下！どのくらいターゲットの近くに寄ることができたかを競い、投下したマーカーとターゲットからの距離が近い人が勝ち！

順位	チーム名	結果(距離)
1	上士幌町青空工房	2m66cm
2	北海道上士幌町高等学校	2m83cm
3	ハッスルバルーンチーム	5m75cm
4	チーム雪の舞A	10m81cm
5	士幌スカイエンジェルBC	19m75cm
6	帯広畜産大学BCFP	21m32cm
7	上士幌ガールズバルーンクラブ	26m10cm
8	ハゲアンBC	26m60cm
9	BCFT	28m75cm
10	Pegasi Balloon Club	36m20cm
11	摩周観光	38m00cm

▶ タスクNo.2 【フライイン】(賞金レース)

競技者は、自分で離陸地を探して気球を飛ばし、決められた一つのターゲットを目指します。今回は航空公園のランチサイトがターゲット！近くまで飛んできて、投下したマーカーとターゲットからの距離が近い人が勝ち！

順位	チーム名	結果(距離)
1	競技本部オフィシャル(道新II号)	1m30cm
2	帯広畜産大学BCFP	18m31cm
3	B. T ZEN	23m90cm
4	チーム雪の舞A	26m30cm



— 2月10日(土)~11日(日)

ウィンターバルーン

ワークで熱気球を飛ばしながら、上士幌の上空と雪原の大地を堪能していました。

タスク1を制したのは、地元上士幌町の「上士幌町青空工房」。タスク2の賞金レースは、競技本部のオフィシャルチームが優勝し、多くのチームが好成績を出す中で、見事優勝に輝きました。2日目は競技を行うも風が強く、結果を出せるチームはありませんでしたが、各チームが難しい風の中で果敢にチャレンジする姿が印象的でした。

また会場では、来場されたお客さまに大好評の熱気球体験乗が行われ、みなさんご存知の大人気の熱気球「ほろんちゃん号」や、今回初めて佐賀県からやってきたとても大きなえびす様の熱気球「さがえびす号」、福岡県から毎年参加されているブゼンバルーンクラブの「カラス天狗II世」が開場を盛り上げてくれました。

全国から参加されたバルーンストのみなさまや競技・イベントの運営にご協力をいただきましたみなさま、このイベントにご支援・ご協力をいただきました全てのみなさまに厚くお礼申し上げます。